

◆新旧対照表（変更箇所のみ抜粋）

計画案 該当頁	修正前	修正後
1	<p>千葉市図書館地域情報アーカイブ化計画</p> <p>第1章 基本的な考え方</p> <p>第1 策定の趣旨</p> <p>図書館は、令和2年3月に「千葉市図書館ビジョン2040」（以下「ビジョン」という。）を策定し……</p> <p>その中で、資料等のアーカイブ化については、……</p> <p>……千葉市史通史編や地域活動等に取り組まれている市民の記憶を証言として記録したもの……</p> <p>この計画は、「千葉市スマートシティ推進ビジョン」…… ……を計画的に推進するための指針として策定する。</p> <p>第2 地域資料のデジタルアーカイブ化の目的</p> <p>図書館は、市民等が文化的資産を利活用できるように……</p>	<p>千葉市図書館地域情報<u>デジタル</u> アーカイブ化計画</p> <p>第1章 基本的な考え方</p> <p>第1 策定の趣旨</p> <p><u>千葉市</u>は、令和2年3月に「千葉市図書館ビジョン2040」（以下「ビジョン」という。）を策定し……</p> <p>その中で、資料等の<u>デジタル</u>アーカイブ化については、……</p> <p>……千葉市史通史編や地域活動等に取り組まれている市民等の記憶を証言として記録したもの……</p> <p>本計画は、「千葉市スマートシティ推進ビジョン」…… ……を計画的に推進するための<u>事業</u>指針として策定する。</p> <p>第2 地域資料のデジタルアーカイブ化の目的</p> <p><u>ビジョン</u>において、<u>図書館</u>は、市民等が文化的資産を利活用できるように……</p>

◆新旧対照表（変更箇所のみ抜粋）

計画案 該当頁	修正前	修正後
2	<p>【資料のデジタルアーカイブ化のメリット】</p> <p>① 時間的・地理的な制約を超えた資料提供 デジタル技術を活用することで、誰でも、地域資料を.....</p> <p>④ 障害者を含むあらゆる人々の利用可能性の向上 資料のデジタル化により、子どもから高齢者、障害者など、どんな人にとっても利用しやすい環境の実現可能性を拡げることが期待できる。</p> <p>第5 デジタルアーカイブ化の対象資料 当面は、アーカイブ化を目的としたデジタル化の対象となる資料は、図書館が所蔵し....</p> <p>第6 本計画の見直し等</p>	<p>【資料のデジタルアーカイブ化のメリット】</p> <p>① 時間的・地理的な制約を超えた資料提供 デジタル技術を活用することで、子どもから高齢者、障害者など、誰でも、地域資料を.....</p> <p>④を削除</p> <p>第5 デジタルアーカイブ化の対象資料 当面は、<u>デジタルアーカイブ化</u>の対象となる資料は、図書館が所蔵し....</p> <p>第6 計画期間 <u>令和6年度（2024年度）から令和8年度（2026年度）までの3年間とする。</u></p> <p>第7 本計画の見直し等</p>

◆新旧対照表（変更箇所のみ抜粋）

計画案 該当頁	修正前	修正後																																																																																											
4	<p>第2章 地域資料デジタルアーカイブ化の現状・課題</p> <p>第1 地域資料デジタルアーカイブ化に関する取組みの現状・課題</p> <p>1 地域資料の収集・記録等</p> <table border="1" data-bbox="309 416 1048 922"> <thead> <tr> <th colspan="2">ビジョンの位置付け</th> <th colspan="3">方向性（1）「知」のアーカイブ化計画の立案・実行 ※1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="5">市制100周年を迎えるに当たり、まちづくりに貢献した市民等の本市発展の記憶を、民間事業者のインタビュー手法などのノウハウを活用して収集・保存します。その上で、アーカイブ化の計画に基づき、市民等の「知」の収集・保存に積極的・継続的に取り組みます。</td> </tr> <tr> <th rowspan="4">現 状</th> <th>取組項目</th> <th>2020年度</th> <th>2021年度</th> <th>2022年度</th> </tr> <tr> <td>計画の策定</td> <td>未着手</td> <td>検討</td> <td>検討</td> </tr> <tr> <td>市民等の記憶の保存</td> <td>5件 小冊子5冊作成</td> <td>10件 小冊子10冊作成</td> <td>11件 小冊子11冊作成</td> </tr> <tr> <td>収集方針の作成</td> <td>検討</td> <td>検討</td> <td>アーカイブ化計画の中で作成</td> </tr> <tr> <td colspan="5">○ 「千葉市民の知」の保存等について、千葉市図書館協議会委員から「千葉市の歴史を後世に残すという図書館の役割を果たしている」との評価を得ている。</td> </tr> <tr> <th rowspan="2">課 題</th> <td colspan="4">○ 収集する「千葉市民の知」については、地域の歴史・文化やまちづくりの活動などを行っている市民の情報について、的確にキャッチする必要がある。</td> </tr> <tr> <td colspan="4">○ 優先度を見極め、インタビュー対象者を選定するための基準又は方針などについて検討する必要がある。</td> </tr> </tbody> </table>	ビジョンの位置付け		方向性（1）「知」のアーカイブ化計画の立案・実行 ※1			市制100周年を迎えるに当たり、まちづくりに貢献した市民等の本市発展の記憶を、民間事業者のインタビュー手法などのノウハウを活用して収集・保存します。その上で、アーカイブ化の計画に基づき、市民等の「知」の収集・保存に積極的・継続的に取り組みます。					現 状	取組項目	2020年度	2021年度	2022年度	計画の策定	未着手	検討	検討	市民等の記憶の保存	5件 小冊子5冊作成	10件 小冊子10冊作成	11件 小冊子11冊作成	収集方針の作成	検討	検討	アーカイブ化計画の中で作成	○ 「千葉市民の知」の保存等について、千葉市図書館協議会委員から「千葉市の歴史を後世に残すという図書館の役割を果たしている」との評価を得ている。					課 題	○ 収集する「千葉市民の知」については、地域の歴史・文化やまちづくりの活動などを行っている市民の情報について、的確にキャッチする必要がある。				○ 優先度を見極め、インタビュー対象者を選定するための基準又は方針などについて検討する必要がある。				<p>第2章 地域資料デジタルアーカイブ化の現状・課題</p> <p>第1 地域資料デジタルアーカイブ化に関する取組みの現状・課題</p> <p>1 地域資料の収集・記録等</p> <table border="1" data-bbox="1227 416 1966 922"> <thead> <tr> <th colspan="2">ビジョンの位置付け</th> <th colspan="4">方向性（1）「知」のアーカイブ化計画の立案・実行 ※1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="6">市制100周年を迎えるに当たり、まちづくりに貢献した市民等の本市発展の記憶を、民間事業者のインタビュー手法などのノウハウを活用して収集・保存します。その上で、アーカイブ化の計画に基づき、市民等の「知」の収集・保存に積極的・継続的に取り組みます。</td> </tr> <tr> <th rowspan="4">現 状</th> <th>取組項目</th> <th>2020年度</th> <th>2021年度</th> <th>2022年度</th> <th>2023年度</th> </tr> <tr> <td>計画の策定</td> <td>未着手</td> <td>検討</td> <td>検討</td> <td>策定</td> </tr> <tr> <td>市民等の記憶の保存</td> <td>5件 小冊子5冊作成</td> <td>10件 小冊子10冊作成</td> <td>11件 小冊子11冊作成</td> <td>10件 小冊子10冊作成</td> </tr> <tr> <td>収集方針の作成</td> <td>検討</td> <td>検討</td> <td>検討</td> <td>本計画の中で作成</td> </tr> <tr> <td colspan="6">○ 「千葉市民の知」の保存等について、千葉市図書館協議会委員から「千葉市の歴史を後世に残すという図書館の役割を果たしている」との評価を得ている。</td> </tr> <tr> <th rowspan="2">課 題</th> <td colspan="5">○ 収集する「千葉市民の知」については、地域の歴史・文化やまちづくりの活動などを行っている市民の情報について、的確にキャッチする必要がある。</td> </tr> <tr> <td colspan="5">○ 優先度を見極め、インタビュー対象者を選定するための基準又は方針などについて検討する必要がある。</td> </tr> </tbody> </table>	ビジョンの位置付け		方向性（1）「知」のアーカイブ化計画の立案・実行 ※1				市制100周年を迎えるに当たり、まちづくりに貢献した市民等の本市発展の記憶を、民間事業者のインタビュー手法などのノウハウを活用して収集・保存します。その上で、アーカイブ化の計画に基づき、市民等の「知」の収集・保存に積極的・継続的に取り組みます。						現 状	取組項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	計画の策定	未着手	検討	検討	策定	市民等の記憶の保存	5件 小冊子5冊作成	10件 小冊子10冊作成	11件 小冊子11冊作成	10件 小冊子10冊作成	収集方針の作成	検討	検討	検討	本計画の中で作成	○ 「千葉市民の知」の保存等について、千葉市図書館協議会委員から「千葉市の歴史を後世に残すという図書館の役割を果たしている」との評価を得ている。						課 題	○ 収集する「千葉市民の知」については、地域の歴史・文化やまちづくりの活動などを行っている市民の情報について、的確にキャッチする必要がある。					○ 優先度を見極め、インタビュー対象者を選定するための基準又は方針などについて検討する必要がある。				
ビジョンの位置付け		方向性（1）「知」のアーカイブ化計画の立案・実行 ※1																																																																																											
市制100周年を迎えるに当たり、まちづくりに貢献した市民等の本市発展の記憶を、民間事業者のインタビュー手法などのノウハウを活用して収集・保存します。その上で、アーカイブ化の計画に基づき、市民等の「知」の収集・保存に積極的・継続的に取り組みます。																																																																																													
現 状	取組項目	2020年度	2021年度	2022年度																																																																																									
	計画の策定	未着手	検討	検討																																																																																									
	市民等の記憶の保存	5件 小冊子5冊作成	10件 小冊子10冊作成	11件 小冊子11冊作成																																																																																									
	収集方針の作成	検討	検討	アーカイブ化計画の中で作成																																																																																									
○ 「千葉市民の知」の保存等について、千葉市図書館協議会委員から「千葉市の歴史を後世に残すという図書館の役割を果たしている」との評価を得ている。																																																																																													
課 題	○ 収集する「千葉市民の知」については、地域の歴史・文化やまちづくりの活動などを行っている市民の情報について、的確にキャッチする必要がある。																																																																																												
	○ 優先度を見極め、インタビュー対象者を選定するための基準又は方針などについて検討する必要がある。																																																																																												
ビジョンの位置付け		方向性（1）「知」のアーカイブ化計画の立案・実行 ※1																																																																																											
市制100周年を迎えるに当たり、まちづくりに貢献した市民等の本市発展の記憶を、民間事業者のインタビュー手法などのノウハウを活用して収集・保存します。その上で、アーカイブ化の計画に基づき、市民等の「知」の収集・保存に積極的・継続的に取り組みます。																																																																																													
現 状	取組項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度																																																																																								
	計画の策定	未着手	検討	検討	策定																																																																																								
	市民等の記憶の保存	5件 小冊子5冊作成	10件 小冊子10冊作成	11件 小冊子11冊作成	10件 小冊子10冊作成																																																																																								
	収集方針の作成	検討	検討	検討	本計画の中で作成																																																																																								
○ 「千葉市民の知」の保存等について、千葉市図書館協議会委員から「千葉市の歴史を後世に残すという図書館の役割を果たしている」との評価を得ている。																																																																																													
課 題	○ 収集する「千葉市民の知」については、地域の歴史・文化やまちづくりの活動などを行っている市民の情報について、的確にキャッチする必要がある。																																																																																												
	○ 優先度を見極め、インタビュー対象者を選定するための基準又は方針などについて検討する必要がある。																																																																																												

◆新旧対照表（変更箇所のみ抜粋）

計画案 該当頁	修正前	修正後																																																					
6	<p style="text-align: center;">2 資料の選定等とデジタル化</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr style="background-color: #d9ead3;"> <th style="width: 15%;">ビジョンの位置付け</th> <th colspan="4">方向性（１）「知」のアーカイブ化計画の立案・実行 ※2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="5">収集・保存した情報コンテンツや歴史的文書などについて、資料の劣化などにより後世への継承が困難となる事象を防ぐため、資料のデジタル化を進め、適切に保存します。</td> </tr> <tr> <th style="width: 10%;"></th> <th style="width: 15%;">項目</th> <th style="width: 15%;">2020年度</th> <th style="width: 15%;">2021年度</th> <th style="width: 15%;">2022年度</th> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">現 状</td> <td>本市に係る歴史的資料のデジタル化</td> <td>千葉市史通史編 第1巻 原始古代中世編</td> <td>千葉市史通史編 第2巻 近世近代編</td> <td>千葉市史通史編 第3巻 近現代編</td> </tr> <tr> <td>市民の記憶等に係る資料のデジタル化</td> <td>5件 民間機能活用 5件</td> <td>10件 民間機能活用 10件</td> <td>10件 民間機能活用 10件</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">課題</p> <p>（歴史的資料の調査・選定）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 図書館が所蔵する本市の歴史的資料の劣化状態等を適切に把握する必要がある。 ○ デジタル化を行う資料の選定にあたっては、郷土博物館のキュレーション機能に注目し、資料価値や著作権などの権利関係の処理についても意見交換等を行った。学芸員等との交流を増やすなど、更なる郷土博物館等との連携体制の充実が望まれる。 <p>（資料のデジタル化）（ここでいう「資料」には市民の記憶等に係る資料を含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 収集した市民等の記憶をオーラルヒストリーとして、また、千葉市史通史編について、資料のデジタル化を進めた。千葉市史通史編については、検索の利便性を高める観点から、内容をテキスト化した。今後は、これまでの取組みの成果を踏まえ、資料選定の考え方を整理し、統一性のある事業展開を目指す必要がある。 <p>（メタデータの整備）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ デジタルアーカイブを活用していくためには、コンテンツにメタデータを付与し、サムネイル/プレビューの整備を進めていく必要がある。各分野内のメタデータの標準化については、それぞれの分野の専門知識とメタデータに関する知識双方が必要であるとの専門家の意見もあり、国の動向を注視していく必要がある。 ○ 市民等の記憶に関する資料については、書誌情報やメタデータの適切な設定など、利用者が検索しやすい環境を整えていく必要がある。 	ビジョンの位置付け	方向性（１）「知」のアーカイブ化計画の立案・実行 ※2				収集・保存した情報コンテンツや歴史的文書などについて、資料の劣化などにより後世への継承が困難となる事象を防ぐため、資料のデジタル化を進め、適切に保存します。						項目	2020年度	2021年度	2022年度	現 状	本市に係る歴史的資料のデジタル化	千葉市史通史編 第1巻 原始古代中世編	千葉市史通史編 第2巻 近世近代編	千葉市史通史編 第3巻 近現代編	市民の記憶等に係る資料のデジタル化	5件 民間機能活用 5件	10件 民間機能活用 10件	10件 民間機能活用 10件	<p style="text-align: center;">2 資料の選定等とデジタル化</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr style="background-color: #d9ead3;"> <th style="width: 15%;">ビジョンの位置付け</th> <th colspan="5">方向性（１）「知」のアーカイブ化計画の立案・実行 ※2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="6">収集・保存した情報コンテンツや歴史的文書などについて、資料の劣化などにより後世への継承が困難となる事象を防ぐため、資料のデジタル化を進め、適切に保存します。</td> </tr> <tr> <th style="width: 10%;"></th> <th style="width: 15%;">項目</th> <th style="width: 15%;">2020年度</th> <th style="width: 15%;">2021年度</th> <th style="width: 15%;">2022年度</th> <th style="width: 15%;">2023年度</th> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">現 状</td> <td>本市に係る歴史的資料のデジタル化</td> <td>千葉市史通史編 第1巻 原始古代中世編</td> <td>千葉市史通史編 第2巻 近世近代編</td> <td>千葉市史通史編 第3巻 近現代編</td> <td>千葉市の町名考 千葉写真大観</td> </tr> <tr> <td>市民等の記憶に係る資料のデジタル化</td> <td>5件 うち民間機能活用 5件</td> <td>10件 うち民間機能活用 10件</td> <td>11件 うち民間機能活用 10件</td> <td>10件 うち民間機能活用 10件</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">課題</p> <p>（歴史的資料の調査・選定）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 図書館が所蔵する本市の歴史的資料の劣化状態等を適切に把握する必要がある。 ○ デジタル化を行う資料の選定にあたっては、郷土博物館のキュレーション機能に注目し、資料価値や著作権などの権利関係の処理についても意見交換等を行った。学芸員等との交流を増やすなど、更なる郷土博物館等との連携体制の充実が望まれる。 <p>（資料のデジタル化）（ここでいう「資料」には市民等の記憶に係る資料を含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 収集した市民等の記憶をオーラルヒストリーとして、また、千葉市史通史編について、資料のデジタル化を進めた。千葉市史通史編については、検索の利便性を高める観点から、内容をテキスト化した。今後は、これまでの取組みの成果を踏まえ、資料選定の考え方を整理し、統一性のある事業展開を目指す必要がある。 <p>（メタデータの整備）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ デジタルアーカイブを活用していくためには、コンテンツにメタデータを付与し、サムネイル/プレビューの整備を進めていく必要がある。各分野内のメタデータの標準化については、それぞれの分野の専門知識とメタデータに関する知識双方が必要であるとの専門家の意見もあり、国の動向を注視していく必要がある。 ○ 市民等の記憶に関する資料については、書誌情報やメタデータの適切な設定など、利用者が検索しやすい環境を整えていく必要がある。 	ビジョンの位置付け	方向性（１）「知」のアーカイブ化計画の立案・実行 ※2					収集・保存した情報コンテンツや歴史的文書などについて、資料の劣化などにより後世への継承が困難となる事象を防ぐため、資料のデジタル化を進め、適切に保存します。							項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	現 状	本市に係る歴史的資料のデジタル化	千葉市史通史編 第1巻 原始古代中世編	千葉市史通史編 第2巻 近世近代編	千葉市史通史編 第3巻 近現代編	千葉市の町名考 千葉写真大観	市民等の記憶に係る資料のデジタル化	5件 うち民間機能活用 5件	10件 うち民間機能活用 10件	11件 うち民間機能活用 10件	10件 うち民間機能活用 10件
ビジョンの位置付け	方向性（１）「知」のアーカイブ化計画の立案・実行 ※2																																																						
収集・保存した情報コンテンツや歴史的文書などについて、資料の劣化などにより後世への継承が困難となる事象を防ぐため、資料のデジタル化を進め、適切に保存します。																																																							
	項目	2020年度	2021年度	2022年度																																																			
現 状	本市に係る歴史的資料のデジタル化	千葉市史通史編 第1巻 原始古代中世編	千葉市史通史編 第2巻 近世近代編	千葉市史通史編 第3巻 近現代編																																																			
	市民の記憶等に係る資料のデジタル化	5件 民間機能活用 5件	10件 民間機能活用 10件	10件 民間機能活用 10件																																																			
ビジョンの位置付け	方向性（１）「知」のアーカイブ化計画の立案・実行 ※2																																																						
収集・保存した情報コンテンツや歴史的文書などについて、資料の劣化などにより後世への継承が困難となる事象を防ぐため、資料のデジタル化を進め、適切に保存します。																																																							
	項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度																																																		
現 状	本市に係る歴史的資料のデジタル化	千葉市史通史編 第1巻 原始古代中世編	千葉市史通史編 第2巻 近世近代編	千葉市史通史編 第3巻 近現代編	千葉市の町名考 千葉写真大観																																																		
	市民等の記憶に係る資料のデジタル化	5件 うち民間機能活用 5件	10件 うち民間機能活用 10件	11件 うち民間機能活用 10件	10件 うち民間機能活用 10件																																																		

◆新旧対照表（変更箇所のみ抜粋）

計画案 該当頁	修正前	修正後																															
7	<p>3 デジタル資料の公開</p> <p>ビジョンの位置付け 方向性（3）「知」の提供プラットフォームの構築（「知」の見える化）※3</p> <p>本市の「知の中核的な拠点」である中央図書館において、<u>アーカイブ化した資料や記録のほか、図書館等でしか閲覧できない歴史的文書等が利用しやすい環境を整備するため、インターネットを介した情報提供の仕組みを構築します。</u></p> <p>アーカイブ化は千葉市史からモデル的に実施し、その結果を検証した上で、博物館等関係機関と協議を進め、<u>資料の選定方針や著作権などの権利処理といった制度の骨格を定め、継続的に取り組んでいきます。</u></p> <table border="1" data-bbox="315 555 1066 995"> <thead> <tr> <th></th> <th>取組項目</th> <th>2020年度</th> <th>2021年度</th> <th>2022年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">現 状</td> <td>デジタルアーカイブプラットフォームの構築等</td> <td>構築</td> <td>運用</td> <td>運用</td> </tr> <tr> <td colspan="4"> ○ 令和2年度に構築したプラットフォームの概要は次のとおりである。 (1) プラットフォームの名称 千葉市地域情報デジタルアーカイブ (2) 利用システム デジタルアーカイブシステムADEAC (3) システムの基本機能 ア デジタルデータの管理・登録機能 イ 公開機能（全文テキスト検索、高精細画像閲覧、多様な情報端末対応） ウ 他機関連携機能（関連機関等の歴史資料の横断検索） エ 業務機能（利用状況の把握。対象物に対してのアクセス回数） (4) アクセス数 2021年 33,742件 2022年 100,771件 </td> </tr> </tbody> </table>		取組項目	2020年度	2021年度	2022年度	現 状	デジタルアーカイブプラットフォームの構築等	構築	運用	運用	○ 令和2年度に構築したプラットフォームの概要は次のとおりである。 (1) プラットフォームの名称 千葉市地域情報デジタルアーカイブ (2) 利用システム デジタルアーカイブシステムADEAC (3) システムの基本機能 ア デジタルデータの管理・登録機能 イ 公開機能（全文テキスト検索、高精細画像閲覧、多様な情報端末対応） ウ 他機関連携機能（関連機関等の歴史資料の横断検索） エ 業務機能（利用状況の把握。対象物に対してのアクセス回数） (4) アクセス数 2021年 33,742件 2022年 100,771件				<p>3 デジタル資料の公開</p> <p>ビジョンの位置付け 方向性（3）「知」の提供プラットフォームの構築（「知」の見える化）※3</p> <p>本市の「知の中核的な拠点」である中央図書館において、<u>デジタルアーカイブ化した資料や記録のほか、図書館等でしか閲覧できない歴史的文書等が利用しやすい環境を整備するため、インターネットを介した情報提供の仕組みを構築します。</u></p> <p><u>デジタル</u>アーカイブ化は千葉市史からモデル的に実施し、その結果を検証した上で、博物館等関係機関と協議を進め、<u>資料の選定方針や著作権などの権利処理といった制度の骨格を定め、継続的に取り組んでいきます。</u></p> <table border="1" data-bbox="1218 555 1980 1007"> <thead> <tr> <th></th> <th>取組項目</th> <th>2020年度</th> <th>2021年度</th> <th>2022年度</th> <th>2023年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">現 状</td> <td>デジタルアーカイブプラットフォームの構築等</td> <td>構築</td> <td>運用</td> <td>運用</td> <td>運用</td> </tr> <tr> <td colspan="5"> ○ 令和2年度に構築したプラットフォームの概要は次のとおりである。 (1) プラットフォームの名称 千葉市地域情報デジタルアーカイブ (2) 利用システム デジタルアーカイブシステムADEAC (3) システムの基本機能 ア デジタルデータの管理・登録機能 イ 公開機能（全文テキスト検索、高精細画像閲覧、多様な情報端末対応） ウ 他機関連携機能（関連機関等の歴史資料の横断検索） エ 業務機能（利用状況の把握。対象物に対してのアクセス回数） (4) アクセス数 2021年度 40,699件 2022年度 92,410件 ※2023年度 137,780件（※2月末時点） </td> </tr> </tbody> </table>		取組項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	現 状	デジタルアーカイブプラットフォームの構築等	構築	運用	運用	運用	○ 令和2年度に構築したプラットフォームの概要は次のとおりである。 (1) プラットフォームの名称 千葉市地域情報デジタルアーカイブ (2) 利用システム デジタルアーカイブシステムADEAC (3) システムの基本機能 ア デジタルデータの管理・登録機能 イ 公開機能（全文テキスト検索、高精細画像閲覧、多様な情報端末対応） ウ 他機関連携機能（関連機関等の歴史資料の横断検索） エ 業務機能（利用状況の把握。対象物に対してのアクセス回数） (4) アクセス数 2021年度 40,699件 2022年度 92,410件 ※2023年度 137,780件（※2月末時点）				
	取組項目	2020年度	2021年度	2022年度																													
現 状	デジタルアーカイブプラットフォームの構築等	構築	運用	運用																													
	○ 令和2年度に構築したプラットフォームの概要は次のとおりである。 (1) プラットフォームの名称 千葉市地域情報デジタルアーカイブ (2) 利用システム デジタルアーカイブシステムADEAC (3) システムの基本機能 ア デジタルデータの管理・登録機能 イ 公開機能（全文テキスト検索、高精細画像閲覧、多様な情報端末対応） ウ 他機関連携機能（関連機関等の歴史資料の横断検索） エ 業務機能（利用状況の把握。対象物に対してのアクセス回数） (4) アクセス数 2021年 33,742件 2022年 100,771件																																
	取組項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度																												
現 状	デジタルアーカイブプラットフォームの構築等	構築	運用	運用	運用																												
	○ 令和2年度に構築したプラットフォームの概要は次のとおりである。 (1) プラットフォームの名称 千葉市地域情報デジタルアーカイブ (2) 利用システム デジタルアーカイブシステムADEAC (3) システムの基本機能 ア デジタルデータの管理・登録機能 イ 公開機能（全文テキスト検索、高精細画像閲覧、多様な情報端末対応） ウ 他機関連携機能（関連機関等の歴史資料の横断検索） エ 業務機能（利用状況の把握。対象物に対してのアクセス回数） (4) アクセス数 2021年度 40,699件 2022年度 92,410件 ※2023年度 137,780件（※2月末時点）																																

◆新旧対照表（変更箇所のみ抜粋）

計画案 該当頁	修正前	修正後																																											
9	<p style="text-align: center;">4 デジタル資料の利活用等</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%; background-color: #d9ead3;">ビジョンの位置付け</td> <td style="background-color: #d9ead3;">方向性（5）「知」の発掘などに関する市民協働体制の構築 ※4</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #d9ead3;">ビジョンの位置付け</td> <td style="background-color: #d9ead3;">方向性（6）学習成果などの「市民の知」の発表などに対する支援※5</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">現 状</td> <td> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">取組内容</th> <th style="width: 15%;">2020 年度</th> <th style="width: 15%;">2021 年度</th> <th style="width: 15%;">2022 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市民協働体制構築</td> <td style="text-align: center;">検討</td> <td style="text-align: center;">検討</td> <td>ボランティア活用モデルの実施(1件)</td> </tr> <tr> <td>学びの成果を活かす具体的な方策の検討</td> <td style="text-align: center;">検討</td> <td style="text-align: center;">検討</td> <td style="text-align: center;">検討</td> </tr> </tbody> </table> </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">課 題</td> <td> <p>（二次利用）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ コンテンツの二次利用の規定やCC（クリエイティブ・コモンズ）ライセンスを適切に表示する。 <p>（利活用）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ デジタルアーカイブが日常的に活用される環境づくりを進めるには、図書館だけでなく、市民がデジタルアーカイブの使い手であると同時に、作り手であるという意識を持てるような地域住民等との協働による構築プロセスが重要であることから、市民の記憶等の収集・記録におけるボランティアの発掘、効果的な活用について検討していく必要がある。 ○ 集積した「千葉市民の知」の利活用を促進する観点から、知の発掘や収集の場面において、市民との協働体制を構築し、作成と利活用の循環を生み出していくような取組みが期待されている。 ○ 記憶の収集や記録に係る市民協働体制の構築にあたって、2022 年度に大学や市生涯学習センター内にあるボランティアセンターに相談等を行ったが、録音データを文字に起こすボランティア 1 名だけであった。協力できるボランティアを発掘するための新たなルートについて検討する必要がある。 </td> </tr> </table>	ビジョンの位置付け	方向性（5）「知」の発掘などに関する市民協働体制の構築 ※4	ビジョンの位置付け	方向性（6）学習成果などの「市民の知」の発表などに対する支援※5	現 状	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">取組内容</th> <th style="width: 15%;">2020 年度</th> <th style="width: 15%;">2021 年度</th> <th style="width: 15%;">2022 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市民協働体制構築</td> <td style="text-align: center;">検討</td> <td style="text-align: center;">検討</td> <td>ボランティア活用モデルの実施(1件)</td> </tr> <tr> <td>学びの成果を活かす具体的な方策の検討</td> <td style="text-align: center;">検討</td> <td style="text-align: center;">検討</td> <td style="text-align: center;">検討</td> </tr> </tbody> </table>	取組内容	2020 年度	2021 年度	2022 年度	市民協働体制構築	検討	検討	ボランティア活用モデルの実施(1件)	学びの成果を活かす具体的な方策の検討	検討	検討	検討	課 題	<p>（二次利用）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ コンテンツの二次利用の規定やCC（クリエイティブ・コモンズ）ライセンスを適切に表示する。 <p>（利活用）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ デジタルアーカイブが日常的に活用される環境づくりを進めるには、図書館だけでなく、市民がデジタルアーカイブの使い手であると同時に、作り手であるという意識を持てるような地域住民等との協働による構築プロセスが重要であることから、市民の記憶等の収集・記録におけるボランティアの発掘、効果的な活用について検討していく必要がある。 ○ 集積した「千葉市民の知」の利活用を促進する観点から、知の発掘や収集の場面において、市民との協働体制を構築し、作成と利活用の循環を生み出していくような取組みが期待されている。 ○ 記憶の収集や記録に係る市民協働体制の構築にあたって、2022 年度に大学や市生涯学習センター内にあるボランティアセンターに相談等を行ったが、録音データを文字に起こすボランティア 1 名だけであった。協力できるボランティアを発掘するための新たなルートについて検討する必要がある。 	<p style="text-align: center;">4 デジタル資料の利活用等</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%; background-color: #d9ead3;">ビジョンの位置付け</td> <td style="background-color: #d9ead3;">方向性（5）「知」の発掘などに関する市民協働体制の構築 ※4</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #d9ead3;">ビジョンの位置付け</td> <td style="background-color: #d9ead3;">方向性（6）学習成果などの「市民の知」の発表などに対する支援※5</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">現 状</td> <td> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">取組内容</th> <th style="width: 15%;">2020 年度</th> <th style="width: 15%;">2021 年度</th> <th style="width: 15%;">2022 年度</th> <th style="width: 15%;">2023 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市民協働体制構築</td> <td style="text-align: center;">検討</td> <td style="text-align: center;">検討</td> <td>ボランティア活用モデルの実施(1件)</td> <td>ボランティア活用モデルの実施(1件)</td> </tr> <tr> <td>学びの成果を活かす具体的な方策の検討</td> <td style="text-align: center;">検討</td> <td style="text-align: center;">検討</td> <td style="text-align: center;">検討</td> <td style="text-align: center;">検討</td> </tr> </tbody> </table> </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">課 題</td> <td> <p>（二次利用）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ コンテンツの二次利用の規定やCC（クリエイティブ・コモンズ）ライセンスを適切に表示する。 <p>（利活用）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ デジタルアーカイブが日常的に活用される環境づくりを進めるには、図書館だけでなく、市民がデジタルアーカイブの使い手であると同時に、作り手であるという意識を持てるような地域住民等との協働による構築プロセスが重要であることから、市民等の記憶の収集・記録におけるボランティアの発掘、効果的な活用について検討していく必要がある。 ○ 集積した「千葉市民の知」の利活用を促進する観点から、知の発掘や収集の場面において、市民との協働体制を構築し、作成と利活用の循環を生み出していくような取組みが期待されている。 ○ 記憶の収集や記録に係る市民協働体制の構築にあたって、2022 年度に大学や市生涯学習センター内にあるボランティアセンターに相談等を行ったが、<u>協力が得られたのは録音データを文字に起こすボランティア 1 名だけであった。協力できるボランティアを発掘するための新たなルートについて検討する必要がある。</u> </td> </tr> </table>	ビジョンの位置付け	方向性（5）「知」の発掘などに関する市民協働体制の構築 ※4	ビジョンの位置付け	方向性（6）学習成果などの「市民の知」の発表などに対する支援※5	現 状	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">取組内容</th> <th style="width: 15%;">2020 年度</th> <th style="width: 15%;">2021 年度</th> <th style="width: 15%;">2022 年度</th> <th style="width: 15%;">2023 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市民協働体制構築</td> <td style="text-align: center;">検討</td> <td style="text-align: center;">検討</td> <td>ボランティア活用モデルの実施(1件)</td> <td>ボランティア活用モデルの実施(1件)</td> </tr> <tr> <td>学びの成果を活かす具体的な方策の検討</td> <td style="text-align: center;">検討</td> <td style="text-align: center;">検討</td> <td style="text-align: center;">検討</td> <td style="text-align: center;">検討</td> </tr> </tbody> </table>	取組内容	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	市民協働体制構築	検討	検討	ボランティア活用モデルの実施(1件)	ボランティア活用モデルの実施(1件)	学びの成果を活かす具体的な方策の検討	検討	検討	検討	検討	課 題	<p>（二次利用）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ コンテンツの二次利用の規定やCC（クリエイティブ・コモンズ）ライセンスを適切に表示する。 <p>（利活用）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ デジタルアーカイブが日常的に活用される環境づくりを進めるには、図書館だけでなく、市民がデジタルアーカイブの使い手であると同時に、作り手であるという意識を持てるような地域住民等との協働による構築プロセスが重要であることから、市民等の記憶の収集・記録におけるボランティアの発掘、効果的な活用について検討していく必要がある。 ○ 集積した「千葉市民の知」の利活用を促進する観点から、知の発掘や収集の場面において、市民との協働体制を構築し、作成と利活用の循環を生み出していくような取組みが期待されている。 ○ 記憶の収集や記録に係る市民協働体制の構築にあたって、2022 年度に大学や市生涯学習センター内にあるボランティアセンターに相談等を行ったが、<u>協力が得られたのは録音データを文字に起こすボランティア 1 名だけであった。協力できるボランティアを発掘するための新たなルートについて検討する必要がある。</u>
ビジョンの位置付け	方向性（5）「知」の発掘などに関する市民協働体制の構築 ※4																																												
ビジョンの位置付け	方向性（6）学習成果などの「市民の知」の発表などに対する支援※5																																												
現 状	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">取組内容</th> <th style="width: 15%;">2020 年度</th> <th style="width: 15%;">2021 年度</th> <th style="width: 15%;">2022 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市民協働体制構築</td> <td style="text-align: center;">検討</td> <td style="text-align: center;">検討</td> <td>ボランティア活用モデルの実施(1件)</td> </tr> <tr> <td>学びの成果を活かす具体的な方策の検討</td> <td style="text-align: center;">検討</td> <td style="text-align: center;">検討</td> <td style="text-align: center;">検討</td> </tr> </tbody> </table>	取組内容	2020 年度	2021 年度	2022 年度	市民協働体制構築	検討	検討	ボランティア活用モデルの実施(1件)	学びの成果を活かす具体的な方策の検討	検討	検討	検討																																
取組内容	2020 年度	2021 年度	2022 年度																																										
市民協働体制構築	検討	検討	ボランティア活用モデルの実施(1件)																																										
学びの成果を活かす具体的な方策の検討	検討	検討	検討																																										
課 題	<p>（二次利用）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ コンテンツの二次利用の規定やCC（クリエイティブ・コモンズ）ライセンスを適切に表示する。 <p>（利活用）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ デジタルアーカイブが日常的に活用される環境づくりを進めるには、図書館だけでなく、市民がデジタルアーカイブの使い手であると同時に、作り手であるという意識を持てるような地域住民等との協働による構築プロセスが重要であることから、市民の記憶等の収集・記録におけるボランティアの発掘、効果的な活用について検討していく必要がある。 ○ 集積した「千葉市民の知」の利活用を促進する観点から、知の発掘や収集の場面において、市民との協働体制を構築し、作成と利活用の循環を生み出していくような取組みが期待されている。 ○ 記憶の収集や記録に係る市民協働体制の構築にあたって、2022 年度に大学や市生涯学習センター内にあるボランティアセンターに相談等を行ったが、録音データを文字に起こすボランティア 1 名だけであった。協力できるボランティアを発掘するための新たなルートについて検討する必要がある。 																																												
ビジョンの位置付け	方向性（5）「知」の発掘などに関する市民協働体制の構築 ※4																																												
ビジョンの位置付け	方向性（6）学習成果などの「市民の知」の発表などに対する支援※5																																												
現 状	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">取組内容</th> <th style="width: 15%;">2020 年度</th> <th style="width: 15%;">2021 年度</th> <th style="width: 15%;">2022 年度</th> <th style="width: 15%;">2023 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市民協働体制構築</td> <td style="text-align: center;">検討</td> <td style="text-align: center;">検討</td> <td>ボランティア活用モデルの実施(1件)</td> <td>ボランティア活用モデルの実施(1件)</td> </tr> <tr> <td>学びの成果を活かす具体的な方策の検討</td> <td style="text-align: center;">検討</td> <td style="text-align: center;">検討</td> <td style="text-align: center;">検討</td> <td style="text-align: center;">検討</td> </tr> </tbody> </table>	取組内容	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	市民協働体制構築	検討	検討	ボランティア活用モデルの実施(1件)	ボランティア活用モデルの実施(1件)	学びの成果を活かす具体的な方策の検討	検討	検討	検討	検討																													
取組内容	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度																																									
市民協働体制構築	検討	検討	ボランティア活用モデルの実施(1件)	ボランティア活用モデルの実施(1件)																																									
学びの成果を活かす具体的な方策の検討	検討	検討	検討	検討																																									
課 題	<p>（二次利用）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ コンテンツの二次利用の規定やCC（クリエイティブ・コモンズ）ライセンスを適切に表示する。 <p>（利活用）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ デジタルアーカイブが日常的に活用される環境づくりを進めるには、図書館だけでなく、市民がデジタルアーカイブの使い手であると同時に、作り手であるという意識を持てるような地域住民等との協働による構築プロセスが重要であることから、市民等の記憶の収集・記録におけるボランティアの発掘、効果的な活用について検討していく必要がある。 ○ 集積した「千葉市民の知」の利活用を促進する観点から、知の発掘や収集の場面において、市民との協働体制を構築し、作成と利活用の循環を生み出していくような取組みが期待されている。 ○ 記憶の収集や記録に係る市民協働体制の構築にあたって、2022 年度に大学や市生涯学習センター内にあるボランティアセンターに相談等を行ったが、<u>協力が得られたのは録音データを文字に起こすボランティア 1 名だけであった。協力できるボランティアを発掘するための新たなルートについて検討する必要がある。</u> 																																												

◆新旧対照表（変更箇所のみ抜粋）

計画案 該当頁	修正前	修正後																																																		
10	<p>5 デジタルアーカイブを推進するための人的基盤の整備</p> <table border="1"> <tr> <td>ビジョンの位置付け</td> <td colspan="4">方向性（４）デジタル・アーキビスト等の専門人材の養成 ※6</td> </tr> <tr> <td colspan="5">未来へつなぐ「知」のアーカイブ化やデジタル化を継続的に充実させていくためには、著作権やプライバシーなどに関する法的な理解に加え、デジタル化の知識や技能を有するデジタル・アーキビスト等の専門人材の存在が欠かせないことから、<u>資格取得の支援などを行い、人材の養成を進めます。</u></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">現 状</td> <td>取組項目</td> <td>2020 年度</td> <td>2021 年度</td> <td>2022 年度</td> </tr> <tr> <td>資格取得支援制度</td> <td>検討</td> <td>検討</td> <td>市の資格取得支援制度の対象資格化 ◇デジタル・アーキビスト ◇準デジタル・アーキビスト ◇デジタル・アーカイブクリエイタ</td> </tr> <tr> <td>課 題</td> <td colspan="4"> <ul style="list-style-type: none"> ○ デジタルアーカイブを適切に推進する人材には、デジタル化に関する知識のほか、コーディネート・企画・マネジメントに関する能力、著作権法や個人情報保護法など関連法令の理解など、幅広い知識を身に付けた職員の養成を進めていく必要がある ○ 図書館職員にデジタル・アーキビスト等の資格の取得を促すとともに、市内の人材公募を活用し、資格を有する人材の発掘・確保に努めていく必要がある。 ○ 専門性を補完する観点から大学図書館等との連携により検討する必要がある。 ○ 研修に関しては、国立国会図書館の研修への参加や、デジタルアーカイブに取り組んでいる大学図書館等との交流を通じて、知識・技術の習得を図る必要がある。 </td> </tr> </table>	ビジョンの位置付け	方向性（４）デジタル・アーキビスト等の専門人材の養成 ※6				未来へつなぐ「知」のアーカイブ化やデジタル化を継続的に充実させていくためには、著作権やプライバシーなどに関する法的な理解に加え、デジタル化の知識や技能を有するデジタル・アーキビスト等の専門人材の存在が欠かせないことから、 <u>資格取得の支援などを行い、人材の養成を進めます。</u>					現 状	取組項目	2020 年度	2021 年度	2022 年度	資格取得支援制度	検討	検討	市の資格取得支援制度の対象資格化 ◇デジタル・アーキビスト ◇準デジタル・アーキビスト ◇デジタル・アーカイブクリエイタ	課 題	<ul style="list-style-type: none"> ○ デジタルアーカイブを適切に推進する人材には、デジタル化に関する知識のほか、コーディネート・企画・マネジメントに関する能力、著作権法や個人情報保護法など関連法令の理解など、幅広い知識を身に付けた職員の養成を進めていく必要がある ○ 図書館職員にデジタル・アーキビスト等の資格の取得を促すとともに、市内の人材公募を活用し、資格を有する人材の発掘・確保に努めていく必要がある。 ○ 専門性を補完する観点から大学図書館等との連携により検討する必要がある。 ○ 研修に関しては、国立国会図書館の研修への参加や、デジタルアーカイブに取り組んでいる大学図書館等との交流を通じて、知識・技術の習得を図る必要がある。 				<p>5 デジタルアーカイブを推進するための人的基盤の整備</p> <table border="1"> <tr> <td>ビジョンの位置付け</td> <td colspan="4">方向性（４）デジタル・アーキビスト等の専門人材の養成 ※6</td> </tr> <tr> <td colspan="5">未来へつなぐ「知」のアーカイブ化やデジタル化を継続的に充実させていくためには、著作権やプライバシーなどに関する法的な理解に加え、デジタル化の知識や技能を有するデジタル・アーキビスト等の専門人材の存在が欠かせないことから、<u>資格取得の支援などを行い、人材の養成を進めます。</u></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">現 状</td> <td>取組項目</td> <td>2020 年度</td> <td>2021 年度</td> <td>2022 年度</td> <td>2023 年度</td> </tr> <tr> <td>資格取得支援制度</td> <td>検討</td> <td>検討</td> <td>市の資格取得支援制度の対象資格化 ◇デジタル・アーキビスト ◇準デジタル・アーキビスト ◇デジタル・アーカイブクリエイタ</td> <td>活用 準デジタル・アーキビスト 資格取得 1 名</td> </tr> <tr> <td>課 題</td> <td colspan="4"> <ul style="list-style-type: none"> ○ デジタルアーカイブを適切に推進する人材には、デジタル化に関する知識のほか、コーディネート・企画・マネジメントに関する能力、著作権法や個人情報保護法など関連法令の理解など、幅広い知識を身に付けた職員の養成を進めていく必要がある ○ 図書館職員にデジタル・アーキビスト等の資格の取得を促すとともに、市内の人材公募を活用し、資格を有する人材の発掘・確保に努めていく必要がある。 ○ 専門性を補完する観点から大学図書館等との連携により検討する必要がある。 ○ 研修に関しては、国立国会図書館の研修への参加や、デジタルアーカイブに取り組んでいる大学図書館等との交流を通じて、知識・技術の習得を図る必要がある。 </td> </tr> </table>	ビジョンの位置付け	方向性（４）デジタル・アーキビスト等の専門人材の養成 ※6				未来へつなぐ「知」のアーカイブ化やデジタル化を継続的に充実させていくためには、著作権やプライバシーなどに関する法的な理解に加え、デジタル化の知識や技能を有するデジタル・アーキビスト等の専門人材の存在が欠かせないことから、 <u>資格取得の支援などを行い、人材の養成を進めます。</u>					現 状	取組項目	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	資格取得支援制度	検討	検討	市の資格取得支援制度の対象資格化 ◇デジタル・アーキビスト ◇準デジタル・アーキビスト ◇デジタル・アーカイブクリエイタ	活用 準デジタル・アーキビスト 資格取得 1 名	課 題	<ul style="list-style-type: none"> ○ デジタルアーカイブを適切に推進する人材には、デジタル化に関する知識のほか、コーディネート・企画・マネジメントに関する能力、著作権法や個人情報保護法など関連法令の理解など、幅広い知識を身に付けた職員の養成を進めていく必要がある ○ 図書館職員にデジタル・アーキビスト等の資格の取得を促すとともに、市内の人材公募を活用し、資格を有する人材の発掘・確保に努めていく必要がある。 ○ 専門性を補完する観点から大学図書館等との連携により検討する必要がある。 ○ 研修に関しては、国立国会図書館の研修への参加や、デジタルアーカイブに取り組んでいる大学図書館等との交流を通じて、知識・技術の習得を図る必要がある。 			
ビジョンの位置付け	方向性（４）デジタル・アーキビスト等の専門人材の養成 ※6																																																			
未来へつなぐ「知」のアーカイブ化やデジタル化を継続的に充実させていくためには、著作権やプライバシーなどに関する法的な理解に加え、デジタル化の知識や技能を有するデジタル・アーキビスト等の専門人材の存在が欠かせないことから、 <u>資格取得の支援などを行い、人材の養成を進めます。</u>																																																				
現 状	取組項目	2020 年度	2021 年度	2022 年度																																																
	資格取得支援制度	検討	検討	市の資格取得支援制度の対象資格化 ◇デジタル・アーキビスト ◇準デジタル・アーキビスト ◇デジタル・アーカイブクリエイタ																																																
課 題	<ul style="list-style-type: none"> ○ デジタルアーカイブを適切に推進する人材には、デジタル化に関する知識のほか、コーディネート・企画・マネジメントに関する能力、著作権法や個人情報保護法など関連法令の理解など、幅広い知識を身に付けた職員の養成を進めていく必要がある ○ 図書館職員にデジタル・アーキビスト等の資格の取得を促すとともに、市内の人材公募を活用し、資格を有する人材の発掘・確保に努めていく必要がある。 ○ 専門性を補完する観点から大学図書館等との連携により検討する必要がある。 ○ 研修に関しては、国立国会図書館の研修への参加や、デジタルアーカイブに取り組んでいる大学図書館等との交流を通じて、知識・技術の習得を図る必要がある。 																																																			
ビジョンの位置付け	方向性（４）デジタル・アーキビスト等の専門人材の養成 ※6																																																			
未来へつなぐ「知」のアーカイブ化やデジタル化を継続的に充実させていくためには、著作権やプライバシーなどに関する法的な理解に加え、デジタル化の知識や技能を有するデジタル・アーキビスト等の専門人材の存在が欠かせないことから、 <u>資格取得の支援などを行い、人材の養成を進めます。</u>																																																				
現 状	取組項目	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度																																															
	資格取得支援制度	検討	検討	市の資格取得支援制度の対象資格化 ◇デジタル・アーキビスト ◇準デジタル・アーキビスト ◇デジタル・アーカイブクリエイタ	活用 準デジタル・アーキビスト 資格取得 1 名																																															
課 題	<ul style="list-style-type: none"> ○ デジタルアーカイブを適切に推進する人材には、デジタル化に関する知識のほか、コーディネート・企画・マネジメントに関する能力、著作権法や個人情報保護法など関連法令の理解など、幅広い知識を身に付けた職員の養成を進めていく必要がある ○ 図書館職員にデジタル・アーキビスト等の資格の取得を促すとともに、市内の人材公募を活用し、資格を有する人材の発掘・確保に努めていく必要がある。 ○ 専門性を補完する観点から大学図書館等との連携により検討する必要がある。 ○ 研修に関しては、国立国会図書館の研修への参加や、デジタルアーカイブに取り組んでいる大学図書館等との交流を通じて、知識・技術の習得を図る必要がある。 																																																			
13	<p>第3章 重点的な取組みとロードマップ</p> <p>第2 ロードマップ</p> <p>図書館ビジョン2040が示す「知の循環をつくり、未来へつなぐ知を生み出す「知の拠点」」の実現に向け、現時点で予定している「地域資料のアーカイブ化」の実施方針に則した各取組みのロードマップは以下のとおりとする。</p> <p>なお、ロードマップは制度改正や予算措置の状況などにより変更の可能性がある。</p>	<p>第3章 重点的な取組みとロードマップ</p> <p>第2 ロードマップ</p> <p>図書館ビジョン2040が示す「知の循環をつくり、未来へつなぐ知を生み出す「知の拠点」」の実現に向け、本計画内で定める「地域資料のアーカイブ化」の実施方針に則した各取組みのロードマップは以下のとおりとする。</p> <p>なお、ロードマップは<u>変更する可能性があり、各年度の具体的な取組みは毎年度の予算編成過程にて検討する。</u></p>																																																		

◆新旧対照表（変更箇所のみ抜粋）

計画案 該当頁	修正前	修正後																																							
13	<p>1 アーカイブ化計画（指針）の策定</p> <p>本計画については、ビジョンの中で示されているデジタルアーカイブに関する方針や基準を含めることとし、図書館協議会の意見を聴取しながら2023年度中に策定する。 策定後は、本計画に則しデジタルアーカイブ化に関する取組みを進める。</p> <table border="1" data-bbox="324 555 1072 722"> <thead> <tr> <th></th> <th>2021年度</th> <th>2022年度</th> <th>2023年度</th> <th>2024年度</th> <th>2025年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アーカイブ化の計画の作成 (各種方針・基準を含む。)</td> <td>検討</td> <td>素案作成</td> <td>策定</td> <td>—</td> <td>検証</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 地域資料の収集・記録等 (3) 市民等の記憶の収集・記録 ① 事業概要</p>		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	アーカイブ化の計画の作成 (各種方針・基準を含む。)	検討	素案作成	策定	—	検証	<p>1 デジタルアーカイブ化計画の見直し等</p> <p>本計画については、ビジョンの中で示されているデジタルアーカイブに関する方針や基準を含めることとし、図書館協議会の意見を聴取しながら2023年度に策定した。 本計画に則しデジタルアーカイブ化に関する取組みを進めるとともに、<u>2026年度に取組みについて検証し、必要な見直しを行う。</u></p> <table border="1" data-bbox="1207 555 1982 722"> <thead> <tr> <th></th> <th>2021年度</th> <th>2022年度</th> <th>2023年度</th> <th>2024年度</th> <th>2025年度</th> <th>2026年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アーカイブ化計画の見直し等 (各種方針・基準を含む。)</td> <td>検討</td> <td>素案作成</td> <td>策定</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>検証 (必要により見直し)</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 地域資料の収集・記録等 (3) 市民等の記憶の収集・記録 ① 事業概要</p>		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	アーカイブ化計画の見直し等 (各種方針・基準を含む。)	検討	素案作成	策定	—	—	検証 (必要により見直し)													
	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度																																				
アーカイブ化の計画の作成 (各種方針・基準を含む。)	検討	素案作成	策定	—	検証																																				
	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度																																			
アーカイブ化計画の見直し等 (各種方針・基準を含む。)	検討	素案作成	策定	—	—	検証 (必要により見直し)																																			
14	<p>「記憶の保存」（「知の保存」）として、文書化されていないような市民等の記憶の中にある貴重な情報について、インタビュー等を通じてオーラルヒストリーとしてデータを記録・保存し、公開する。これにより、市制施行100周年、さらに千葉開府900年を迎える本市の資料を整備し、図書館としての「知」の拠点づくりにつなげる。</p> <p>④ 記憶の収集・記録</p> <p>市民の記憶を収集する方法は、インタビュー手法を用いる。将来における音声や画像等を利用する可能性を考慮し、予算の範囲内で民間事業者を活用し、小冊子の作成や音声・画像等のデータの保存を行う。</p> <table border="1" data-bbox="304 1182 1072 1414"> <thead> <tr> <th></th> <th>2021年度</th> <th>2022年度</th> <th>2023年度</th> <th>2024年度</th> <th>2025年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>千葉市民の知 (市民等の記憶) 収集・保存</td> <td>15件</td> <td>11件</td> <td>10件</td> <td>10件</td> <td>10件</td> </tr> <tr> <td>千葉市民の知 市民協働体制の構築</td> <td>検討</td> <td>モデルの実施</td> <td>モデルの実施</td> <td>1件以上</td> <td>1件以上</td> </tr> </tbody> </table>		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	千葉市民の知 (市民等の記憶) 収集・保存	15件	11件	10件	10件	10件	千葉市民の知 市民協働体制の構築	検討	モデルの実施	モデルの実施	1件以上	1件以上	<p>「記憶の保存」（「知の保存」）として、文書化されていないような市民等の記憶の中にある貴重な情報について、インタビュー等を通じてオーラルヒストリーとしてデータを記録・保存し、公開する。これにより、<u>2026年に千葉開府900年を迎える本市の長い歴史を後世に引き継ぐ一つの資料として整備し、図書館としての「知」の拠点づくりにつなげる。</u></p> <p>④ 記憶の収集・記録</p> <p>市民等の記憶を収集する方法は、インタビュー手法を用いる。将来における音声や画像等を利用する可能性を考慮し、予算の範囲内で民間事業者を活用し、小冊子の作成や音声・画像等のデータの保存を行う。</p> <table border="1" data-bbox="1207 1182 1964 1414"> <thead> <tr> <th></th> <th>2021年度</th> <th>2022年度</th> <th>2023年度</th> <th>2024年度</th> <th>2025年度</th> <th>2026年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>千葉市民の知 (市民等の記憶) 収集・保存</td> <td>15件</td> <td>11件</td> <td>10件</td> <td>10件</td> <td>10件</td> <td><u>10件</u></td> </tr> <tr> <td>千葉市民の知 市民協働体制の構築</td> <td>検討</td> <td>モデルの実施</td> <td>モデルの実施</td> <td>1件以上</td> <td>1件以上</td> <td><u>1件以上</u></td> </tr> </tbody> </table>		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	千葉市民の知 (市民等の記憶) 収集・保存	15件	11件	10件	10件	10件	<u>10件</u>	千葉市民の知 市民協働体制の構築	検討	モデルの実施	モデルの実施	1件以上	1件以上	<u>1件以上</u>
	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度																																				
千葉市民の知 (市民等の記憶) 収集・保存	15件	11件	10件	10件	10件																																				
千葉市民の知 市民協働体制の構築	検討	モデルの実施	モデルの実施	1件以上	1件以上																																				
	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度																																			
千葉市民の知 (市民等の記憶) 収集・保存	15件	11件	10件	10件	10件	<u>10件</u>																																			
千葉市民の知 市民協働体制の構築	検討	モデルの実施	モデルの実施	1件以上	1件以上	<u>1件以上</u>																																			

◆新旧対照表（変更箇所のみ抜粋）

計画案 該当頁	修正前	修正後																																																																	
17	<p>3 資料の選定等とデジタル化</p> <p>*****</p> <p>デジタル化対象資料（実績と計画）</p> <table border="1" data-bbox="295 408 1077 660"> <thead> <tr> <th></th> <th>2021年度</th> <th>2022年度</th> <th>2023年度</th> <th>2024年度</th> <th>2025年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>歴史的資料のデジタル化</td> <td>千葉市史 通史編 第2巻 近世近代編</td> <td>千葉市史 通史編 第3巻 近現代編</td> <td>千葉市の 町名考</td> <td>千葉大系図 (例示)</td> <td>妙見信仰 調査報告書 (例示)</td> </tr> <tr> <td>千葉市民の知 (市民等の記憶) 資料デジタル化</td> <td>◎15件</td> <td>◎11件見込</td> <td>◎10件予定</td> <td>◎10件予定</td> <td>◎10件予定</td> </tr> </tbody> </table> <p>4 デジタル資料の公開</p> <p>*****</p> <table border="1" data-bbox="304 826 1077 986"> <thead> <tr> <th></th> <th>2020年度</th> <th>2021年度 2022年度</th> <th>2023年度</th> <th>2024年度</th> <th>2025年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>デジタルアーカイブ提供システムの構築・運用</td> <td>構築</td> <td>運用</td> <td>運用</td> <td>運用</td> <td>運用</td> </tr> </tbody> </table>		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	歴史的資料のデジタル化	千葉市史 通史編 第2巻 近世近代編	千葉市史 通史編 第3巻 近現代編	千葉市の 町名考	千葉大系図 (例示)	妙見信仰 調査報告書 (例示)	千葉市民の知 (市民等の記憶) 資料デジタル化	◎15件	◎11件見込	◎10件予定	◎10件予定	◎10件予定		2020年度	2021年度 2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	デジタルアーカイブ提供システムの構築・運用	構築	運用	運用	運用	運用	<p>3 資料の選定等とデジタル化</p> <p>*****</p> <p>デジタル化対象資料（実績と計画）</p> <table border="1" data-bbox="1180 408 1984 668"> <thead> <tr> <th></th> <th>2021年度</th> <th>2022年度</th> <th>2023年度</th> <th>2024年度</th> <th>2025年度</th> <th>2026年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>歴史的資料のデジタル化</td> <td>千葉市史 通史編 第2巻 近世近代編</td> <td>千葉市史 通史編 第3巻 近現代編</td> <td>千葉市の 町名考 千葉写真 大観</td> <td>千葉大系図 ※</td> <td>妙見信仰 調査報告書 1、2※</td> <td>妙見信仰 調査報告書 3※</td> </tr> <tr> <td>千葉市民の知 (市民等の記憶) 資料デジタル化</td> <td>◎15件</td> <td>◎11件</td> <td>◎10件</td> <td>◎10件予定</td> <td>◎10件予定</td> <td>◎10件予定</td> </tr> </tbody> </table> <p>※印のある資料については、権利処理ができた場合に実施</p> <p>4 デジタル資料の公開</p> <p>*****</p> <table border="1" data-bbox="1200 826 1991 991"> <thead> <tr> <th></th> <th>2020年度</th> <th>2021年度 2022年度</th> <th>2023年度</th> <th>2024年度</th> <th>2025年度</th> <th>2026年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>デジタルアーカイブ提供システムの構築・運用</td> <td>構築</td> <td>運用</td> <td>運用</td> <td>運用</td> <td>運用</td> <td>運用</td> </tr> </tbody> </table>		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	歴史的資料のデジタル化	千葉市史 通史編 第2巻 近世近代編	千葉市史 通史編 第3巻 近現代編	千葉市の 町名考 千葉写真 大観	千葉大系図 ※	妙見信仰 調査報告書 1、2※	妙見信仰 調査報告書 3※	千葉市民の知 (市民等の記憶) 資料デジタル化	◎15件	◎11件	◎10件	◎10件予定	◎10件予定	◎10件予定		2020年度	2021年度 2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	デジタルアーカイブ提供システムの構築・運用	構築	運用	運用	運用	運用	運用
	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度																																																														
歴史的資料のデジタル化	千葉市史 通史編 第2巻 近世近代編	千葉市史 通史編 第3巻 近現代編	千葉市の 町名考	千葉大系図 (例示)	妙見信仰 調査報告書 (例示)																																																														
千葉市民の知 (市民等の記憶) 資料デジタル化	◎15件	◎11件見込	◎10件予定	◎10件予定	◎10件予定																																																														
	2020年度	2021年度 2022年度	2023年度	2024年度	2025年度																																																														
デジタルアーカイブ提供システムの構築・運用	構築	運用	運用	運用	運用																																																														
	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度																																																													
歴史的資料のデジタル化	千葉市史 通史編 第2巻 近世近代編	千葉市史 通史編 第3巻 近現代編	千葉市の 町名考 千葉写真 大観	千葉大系図 ※	妙見信仰 調査報告書 1、2※	妙見信仰 調査報告書 3※																																																													
千葉市民の知 (市民等の記憶) 資料デジタル化	◎15件	◎11件	◎10件	◎10件予定	◎10件予定	◎10件予定																																																													
	2020年度	2021年度 2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度																																																													
デジタルアーカイブ提供システムの構築・運用	構築	運用	運用	運用	運用	運用																																																													
18	<p>5 デジタル資料の利活用等</p> <p>デジタル化資料の日常的な利活用の促進のためには、市民が使い手であると同時に、作り手であるという意識を持てるような地域住民等との協働による構築プロセスが重要であることから、市民の記憶の収集・記録におけるボランティアの発掘・活用について、モデル事業として実施する。</p> <p>*****</p>	<p>5 デジタル資料の利活用等</p> <p>デジタル化資料の日常的な利活用の促進のためには、市民が使い手であると同時に、作り手であるという意識を持てるような地域住民等との協働による構築プロセスが重要であることから、市民等の記憶の収集・記録におけるボランティアの発掘・活用について、モデル事業として実施する。</p> <p>*****</p>																																																																	

◆新旧対照表（変更箇所のみ抜粋）

計画案 該当頁	修正前	修正後																																																																	
18	<p>市民の記憶の収集・記録におけるボランティアの発掘・活用</p> <table border="1" data-bbox="304 347 1075 483"> <thead> <tr> <th></th> <th>2021年度</th> <th>2022年度</th> <th>2023年度</th> <th>2024年度</th> <th>2025年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>千葉市民の知 市民協働体制の 構築</td> <td>検討</td> <td>モデルの 実施</td> <td>モデルの 実施</td> <td>1件以上</td> <td>1件以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>「市民の知」の発表などに対する支援</p> <table border="1" data-bbox="304 608 1075 730"> <thead> <tr> <th></th> <th>2021年度</th> <th>2022年度</th> <th>2023年度</th> <th>2024年度</th> <th>2025年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学びの成果を活 かす具体的な方 策の検討</td> <td>検討</td> <td>検討</td> <td>検討</td> <td>検討</td> <td>検討結果の 報告</td> </tr> </tbody> </table>		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	千葉市民の知 市民協働体制の 構築	検討	モデルの 実施	モデルの 実施	1件以上	1件以上		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	学びの成果を活 かす具体的な方 策の検討	検討	検討	検討	検討	検討結果の 報告	<p>市民等の記憶の収集・記録におけるボランティアの発掘・活用</p> <table border="1" data-bbox="1205 347 1975 517"> <thead> <tr> <th></th> <th>2021年度</th> <th>2022年度 ～2023年度</th> <th>2024年度</th> <th>2025年度</th> <th>2026年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>千葉市民の知 市民協働体制の 構築</td> <td>検討</td> <td>モデルの 実施</td> <td>1件以上</td> <td>1件以上</td> <td>1件以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>「市民の知」の発表などに対する支援</p> <table border="1" data-bbox="1205 600 1975 754"> <thead> <tr> <th></th> <th>2021年度</th> <th>2022年度 ～2023年度</th> <th>2024年度</th> <th>2025年度</th> <th>2026年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学びの成果を活 かす具体的な方 策の検討</td> <td>検討</td> <td>検討</td> <td>検討</td> <td>検討</td> <td>検討結果の 報告</td> </tr> </tbody> </table>		2021年度	2022年度 ～2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	千葉市民の知 市民協働体制の 構築	検討	モデルの 実施	1件以上	1件以上	1件以上		2021年度	2022年度 ～2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	学びの成果を活 かす具体的な方 策の検討	検討	検討	検討	検討	検討結果の 報告																	
	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度																																																														
千葉市民の知 市民協働体制の 構築	検討	モデルの 実施	モデルの 実施	1件以上	1件以上																																																														
	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度																																																														
学びの成果を活 かす具体的な方 策の検討	検討	検討	検討	検討	検討結果の 報告																																																														
	2021年度	2022年度 ～2023年度	2024年度	2025年度	2026年度																																																														
千葉市民の知 市民協働体制の 構築	検討	モデルの 実施	1件以上	1件以上	1件以上																																																														
	2021年度	2022年度 ～2023年度	2024年度	2025年度	2026年度																																																														
学びの成果を活 かす具体的な方 策の検討	検討	検討	検討	検討	検討結果の 報告																																																														
19	<p>6 デジタルアーカイブを推進するための人的基盤の整備</p> <table border="1" data-bbox="293 852 1075 1152"> <thead> <tr> <th></th> <th>2021年度</th> <th>2022年度</th> <th>2023年度</th> <th>2024年度</th> <th>2025年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>資格取得支援 制度の活用</td> <td>協議 調整</td> <td>市の資格取得 支援制度の 対象資格化</td> <td>活用</td> <td>活用</td> <td>活用</td> </tr> <tr> <td>人材公募</td> <td></td> <td>実施</td> <td>実施</td> <td>実施</td> <td>実施</td> </tr> <tr> <td>国立国会図書館 等の研修参加※</td> <td>未参加</td> <td>未参加</td> <td>2人以上</td> <td>2人以上</td> <td>2人以上</td> </tr> <tr> <td>大学図書館等 デジタルアーカ イブ機関の視察</td> <td>未実施</td> <td>未実施</td> <td>実施</td> <td>実施</td> <td>実施</td> </tr> </tbody> </table>		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	資格取得支援 制度の活用	協議 調整	市の資格取得 支援制度の 対象資格化	活用	活用	活用	人材公募		実施	実施	実施	実施	国立国会図書館 等の研修参加※	未参加	未参加	2人以上	2人以上	2人以上	大学図書館等 デジタルアーカ イブ機関の視察	未実施	未実施	実施	実施	実施	<p>6 デジタルアーカイブを推進するための人的基盤の整備</p> <table border="1" data-bbox="1189 847 1984 1141"> <thead> <tr> <th></th> <th>2021年度</th> <th>2022年度</th> <th>2023年度</th> <th>2024年度</th> <th>2025年度</th> <th>2026年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>資格取得支援 制度の活用</td> <td>協議 調整</td> <td>対象化</td> <td>活用 (1名)</td> <td>活用</td> <td>活用</td> <td>活用</td> </tr> <tr> <td>人材公募</td> <td></td> <td>実施</td> <td>実施</td> <td>実施</td> <td>実施</td> <td>実施</td> </tr> <tr> <td>国立国会図書館 等の研修参加※</td> <td>未参加</td> <td>未参加</td> <td>未参加</td> <td>2人以上</td> <td>2人以上</td> <td>2人以上</td> </tr> <tr> <td>大学図書館等 デジタルアーカ イブ機関の視察</td> <td>未実施</td> <td>未実施</td> <td>未実施</td> <td>実施</td> <td>実施</td> <td>実施</td> </tr> </tbody> </table>		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	資格取得支援 制度の活用	協議 調整	対象化	活用 (1名)	活用	活用	活用	人材公募		実施	実施	実施	実施	実施	国立国会図書館 等の研修参加※	未参加	未参加	未参加	2人以上	2人以上	2人以上	大学図書館等 デジタルアーカ イブ機関の視察	未実施	未実施	未実施	実施	実施	実施
	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度																																																														
資格取得支援 制度の活用	協議 調整	市の資格取得 支援制度の 対象資格化	活用	活用	活用																																																														
人材公募		実施	実施	実施	実施																																																														
国立国会図書館 等の研修参加※	未参加	未参加	2人以上	2人以上	2人以上																																																														
大学図書館等 デジタルアーカ イブ機関の視察	未実施	未実施	実施	実施	実施																																																														
	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度																																																													
資格取得支援 制度の活用	協議 調整	対象化	活用 (1名)	活用	活用	活用																																																													
人材公募		実施	実施	実施	実施	実施																																																													
国立国会図書館 等の研修参加※	未参加	未参加	未参加	2人以上	2人以上	2人以上																																																													
大学図書館等 デジタルアーカ イブ機関の視察	未実施	未実施	未実施	実施	実施	実施																																																													

◆新旧対照表（変更箇所のみ抜粋）

計画案 該当頁	修正前	修正後												
19	<p>第4章 参考資料 第1 専門機関等への意見聴取 ア 神田外語大学</p> <table border="1" data-bbox="333 408 1055 719"> <thead> <tr> <th>聴取日</th> <th>主な意見等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和4年12月1日（木）</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・本指針案中で使用する文言整理による目的と手段の明確化 目的：地域情報のアーカイブ化 手段：デジタル化 ・アーカイブ化の対象の明確化 紙資料だけなのか、音声、画像等含むのか ・現状と課題等を表形式にまとめているのは分かり易くてよい。 </td> </tr> <tr> <td>令和5年1月18日（水）</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・「資料の選定・デジタル化」に関する部分の修正（権利処理に係る文言やフロー図） ・職員の育成（研修）に関する部分にデジタルアーカイブ学会についての文言追加 </td> </tr> </tbody> </table>	聴取日	主な意見等	令和4年12月1日（木）	<ul style="list-style-type: none"> ・本指針案中で使用する文言整理による目的と手段の明確化 目的：地域情報のアーカイブ化 手段：デジタル化 ・アーカイブ化の対象の明確化 紙資料だけなのか、音声、画像等含むのか ・現状と課題等を表形式にまとめているのは分かり易くてよい。 	令和5年1月18日（水）	<ul style="list-style-type: none"> ・「資料の選定・デジタル化」に関する部分の修正（権利処理に係る文言やフロー図） ・職員の育成（研修）に関する部分にデジタルアーカイブ学会についての文言追加 	<p>第4章 参考資料 第1 先進機関等への意見聴取 ア 神田外語大学</p> <table border="1" data-bbox="1247 408 1973 719"> <thead> <tr> <th>聴取日</th> <th>主な意見等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和4年12月1日（木）</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ○本指針案中で使用する文言を整理し、目的（地域情報のアーカイブ化）と手段（デジタル化）を明確化した方がよい。 ○アーカイブ化の対象について明確化した方がよい。 紙資料だけなのか、音声、画像等含むのか ○現状と課題等を表形式にまとめているのは分かり易い。 </td> </tr> <tr> <td>令和5年1月18日（水）</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ○「資料の選定・デジタル化」に関する部分の修正（権利処理に係る文言やフロー図） ○職員の育成（研修）に関する部分にデジタルアーカイブ学会の講演会等を追加するのがよい。 </td> </tr> </tbody> </table>	聴取日	主な意見等	令和4年12月1日（木）	<ul style="list-style-type: none"> ○本指針案中で使用する文言を整理し、目的（地域情報のアーカイブ化）と手段（デジタル化）を明確化した方がよい。 ○アーカイブ化の対象について明確化した方がよい。 紙資料だけなのか、音声、画像等含むのか ○現状と課題等を表形式にまとめているのは分かり易い。 	令和5年1月18日（水）	<ul style="list-style-type: none"> ○「資料の選定・デジタル化」に関する部分の修正（権利処理に係る文言やフロー図） ○職員の育成（研修）に関する部分にデジタルアーカイブ学会の講演会等を追加するのがよい。
聴取日	主な意見等													
令和4年12月1日（木）	<ul style="list-style-type: none"> ・本指針案中で使用する文言整理による目的と手段の明確化 目的：地域情報のアーカイブ化 手段：デジタル化 ・アーカイブ化の対象の明確化 紙資料だけなのか、音声、画像等含むのか ・現状と課題等を表形式にまとめているのは分かり易くてよい。 													
令和5年1月18日（水）	<ul style="list-style-type: none"> ・「資料の選定・デジタル化」に関する部分の修正（権利処理に係る文言やフロー図） ・職員の育成（研修）に関する部分にデジタルアーカイブ学会についての文言追加 													
聴取日	主な意見等													
令和4年12月1日（木）	<ul style="list-style-type: none"> ○本指針案中で使用する文言を整理し、目的（地域情報のアーカイブ化）と手段（デジタル化）を明確化した方がよい。 ○アーカイブ化の対象について明確化した方がよい。 紙資料だけなのか、音声、画像等含むのか ○現状と課題等を表形式にまとめているのは分かり易い。 													
令和5年1月18日（水）	<ul style="list-style-type: none"> ○「資料の選定・デジタル化」に関する部分の修正（権利処理に係る文言やフロー図） ○職員の育成（研修）に関する部分にデジタルアーカイブ学会の講演会等を追加するのがよい。 													
20	<p>イ 千葉大学附属図書館</p> <table border="1" data-bbox="333 802 1055 1129"> <thead> <tr> <th>聴取日</th> <th>主な意見等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和5年2月3日（金）</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・「千葉市図書館ビジョン2040第3章 施策展開の方向性」と本計画の各項目との対応関係についての説明を記載した方がよい。 ・デジタルアーカイブ化の対象を当面、紙資料としているが、将来的には音声データ等も公開対象に加えたい。 ・障害者等の利用可能性の向上のための具体的な取り組みについての記載がない。 ・オンラインデータベースについては、アーカイブ化とは直接的な関連性がない。 ・ジャパンサーチや他のアーカイブ機関との連携により、市外利用者の活用も促進したい。 </td> </tr> </tbody> </table>	聴取日	主な意見等	令和5年2月3日（金）	<ul style="list-style-type: none"> ・「千葉市図書館ビジョン2040第3章 施策展開の方向性」と本計画の各項目との対応関係についての説明を記載した方がよい。 ・デジタルアーカイブ化の対象を当面、紙資料としているが、将来的には音声データ等も公開対象に加えたい。 ・障害者等の利用可能性の向上のための具体的な取り組みについての記載がない。 ・オンラインデータベースについては、アーカイブ化とは直接的な関連性がない。 ・ジャパンサーチや他のアーカイブ機関との連携により、市外利用者の活用も促進したい。 	<p>イ 千葉大学附属図書館</p> <table border="1" data-bbox="1247 802 1973 1129"> <thead> <tr> <th>聴取日</th> <th>主な意見等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和5年2月3日（金）</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ○「千葉市図書館ビジョン2040第3章 施策展開の方向性」と本計画の各項目との対応関係についての説明を記載した方がよい。 ○デジタルアーカイブ化の対象を当面、紙資料としているが、将来的には音声データ等も公開対象に加えてほしい。 ○障害者等の利用可能性の向上のための具体的な取り組みについての記載がない。 ○オンラインデータベースについては、アーカイブ化とは直接的な関連性がない。 ○他のアーカイブ機関との連携により、市外利用者の活用も促進してほしい。 </td> </tr> </tbody> </table>	聴取日	主な意見等	令和5年2月3日（金）	<ul style="list-style-type: none"> ○「千葉市図書館ビジョン2040第3章 施策展開の方向性」と本計画の各項目との対応関係についての説明を記載した方がよい。 ○デジタルアーカイブ化の対象を当面、紙資料としているが、将来的には音声データ等も公開対象に加えてほしい。 ○障害者等の利用可能性の向上のための具体的な取り組みについての記載がない。 ○オンラインデータベースについては、アーカイブ化とは直接的な関連性がない。 ○他のアーカイブ機関との連携により、市外利用者の活用も促進してほしい。 				
聴取日	主な意見等													
令和5年2月3日（金）	<ul style="list-style-type: none"> ・「千葉市図書館ビジョン2040第3章 施策展開の方向性」と本計画の各項目との対応関係についての説明を記載した方がよい。 ・デジタルアーカイブ化の対象を当面、紙資料としているが、将来的には音声データ等も公開対象に加えたい。 ・障害者等の利用可能性の向上のための具体的な取り組みについての記載がない。 ・オンラインデータベースについては、アーカイブ化とは直接的な関連性がない。 ・ジャパンサーチや他のアーカイブ機関との連携により、市外利用者の活用も促進したい。 													
聴取日	主な意見等													
令和5年2月3日（金）	<ul style="list-style-type: none"> ○「千葉市図書館ビジョン2040第3章 施策展開の方向性」と本計画の各項目との対応関係についての説明を記載した方がよい。 ○デジタルアーカイブ化の対象を当面、紙資料としているが、将来的には音声データ等も公開対象に加えてほしい。 ○障害者等の利用可能性の向上のための具体的な取り組みについての記載がない。 ○オンラインデータベースについては、アーカイブ化とは直接的な関連性がない。 ○他のアーカイブ機関との連携により、市外利用者の活用も促進してほしい。 													

◆新旧対照表（変更箇所のみ抜粋）

計画案 該当頁	修正前	修正後																																
20	<p>第2 主な策定スケジュール</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">令和4年5月</td> <td>先進事例調査（鳥取県立図書館の「総合的なデジタル計画」など）</td> </tr> <tr> <td>6月～</td> <td>計画素案作成着手</td> </tr> <tr> <td>7月～</td> <td>関係課（市立郷土博物館）との調整（7月） 生涯学習センターへの意見聴取（10月）</td> </tr> <tr> <td>12月～</td> <td>専門機関等（大学図書館）への意見聴取</td> </tr> <tr> <td>令和5年3月</td> <td>計画素案について千葉市図書館協議会に意見聴取</td> </tr> <tr> <td>7月</td> <td>計画案について千葉市図書館協議会に意見聴取</td> </tr> <tr> <td>8月～</td> <td>庁内説明・調整</td> </tr> <tr> <td>10月</td> <td>計画の策定</td> </tr> </table>	令和4年5月	先進事例調査（鳥取県立図書館の「総合的なデジタル計画」など）	6月～	計画素案作成着手	7月～	関係課（市立郷土博物館）との調整（7月） 生涯学習センターへの意見聴取（10月）	12月～	専門機関等（大学図書館）への意見聴取	令和5年3月	計画素案について千葉市図書館協議会に意見聴取	7月	計画案について千葉市図書館協議会に意見聴取	8月～	庁内説明・調整	10月	計画の策定	<p>第2 主な策定スケジュール</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">令和4年5月</td> <td>先進事例調査（鳥取県立図書館の「総合的なデジタル計画」など）</td> </tr> <tr> <td>6月～</td> <td>計画素案作成着手</td> </tr> <tr> <td>7月～</td> <td>関係課（市立郷土博物館）との調整（7月） 生涯学習センターより意見聴取（10月）</td> </tr> <tr> <td>12月～</td> <td>先進機関（大学図書館）への意見聴取</td> </tr> <tr> <td>令和5年3月</td> <td>計画素案について千葉市図書館協議会より意見聴取</td> </tr> <tr> <td>7月</td> <td>計画案について千葉市図書館協議会より意見聴取</td> </tr> <tr> <td>8月～</td> <td>庁内説明・調整</td> </tr> <tr> <td>令和6年3月</td> <td>計画案について千葉市図書館協議会より意見聴取後、計画の決定</td> </tr> </table>	令和4年5月	先進事例調査（鳥取県立図書館の「総合的なデジタル計画」など）	6月～	計画素案作成着手	7月～	関係課（市立郷土博物館）との調整（7月） 生涯学習センターより意見聴取（10月）	12月～	先進機関（大学図書館）への意見聴取	令和5年3月	計画素案について千葉市図書館協議会より意見聴取	7月	計画案について千葉市図書館協議会より意見聴取	8月～	庁内説明・調整	令和6年3月	計画案について千葉市図書館協議会より意見聴取後、計画の決定
令和4年5月	先進事例調査（鳥取県立図書館の「総合的なデジタル計画」など）																																	
6月～	計画素案作成着手																																	
7月～	関係課（市立郷土博物館）との調整（7月） 生涯学習センターへの意見聴取（10月）																																	
12月～	専門機関等（大学図書館）への意見聴取																																	
令和5年3月	計画素案について千葉市図書館協議会に意見聴取																																	
7月	計画案について千葉市図書館協議会に意見聴取																																	
8月～	庁内説明・調整																																	
10月	計画の策定																																	
令和4年5月	先進事例調査（鳥取県立図書館の「総合的なデジタル計画」など）																																	
6月～	計画素案作成着手																																	
7月～	関係課（市立郷土博物館）との調整（7月） 生涯学習センターより意見聴取（10月）																																	
12月～	先進機関（大学図書館）への意見聴取																																	
令和5年3月	計画素案について千葉市図書館協議会より意見聴取																																	
7月	計画案について千葉市図書館協議会より意見聴取																																	
8月～	庁内説明・調整																																	
令和6年3月	計画案について千葉市図書館協議会より意見聴取後、計画の決定																																	